

答 経済の変化の中で小規模店舗に求められていることは事業の専門性といわれている。このことをしっかりとやっていくことが小規模店舗の活性化につながっていくと考えている。

土木費

問 町内要望の実施率はどれだけか。また、データベース化されているのか。

答 実施率は61・8%であり、データベース化されている。

問 NTTの铁塔撤去補助に対して、民間の看板撤去との整合性は。

答 NTTについては長期間にわたる協議によって決着した。民間の看板については事業者の責任として自主的に看板を撤去していただいた。

教育費

問 スクールバスの更新基準と修繕費用は。

答 経過年数が10年以上、走行距離が20万kmに達

したものとなっている。

答 修繕については平成25年度においても修繕費520万円確保し、対応している。また、不足の場合は費目の流用によって対応する。

問 天然記念物保護管理の状況は。

答 臥龍桜のほかに清見の小鳥峠の水芭蕉の調査、刈安湿原の生態調査及び整備を行っている。

**国民健康保険
事業特別会計**

問 直営診療施設勘定の医療費の不用額の内容は。

答 清見診療所の調剤を院外に移行したことにより、医薬材料費を購入する必要がなくなったことによる不用額である。

**下水道事業
特別会計**

問 特定環境保全公共下水道事業において処理原価が18・1円減少し

た理由は。

答 汚水処理費は施設の維持管理に関する費用と施設建設における起債の償還等があるが、その起債の償還等が減少してきているためである。

**簡易水道事業
特別会計**

問 有収率の改善が図られた簡易水道はあるのか。

答 平成25年度は有収率の低い地域、配水量が急増した地域、管路からシグナルが出た地域を重点的に漏水調査を実施してきた。また丹生川、高根、荘川において漏水を発見し、修理を行っている。

有収率の大幅な改善に結びついたのは荘川地域で約2割の改善があった。

水道事業会計

問 平成25年度に発生した突発事故の中で、断水まで至ったことはあったのか。

答 手当てをしなければ断水に至ると思われる大規模な事故は25件あった。

**平成26年度
一般会計補正
予算(第3号)**

問 水ぼうそうの予防接種の対象者と対象人数は。

答 定期予防接種の対象者は生後12か月から36か月となっている。今年度のみ60か月以前の方も対象となることから合わせて約3,200人が対象となっているが、予算では3,000人を見込んでいる。

問 地籍調査に1,000万円補正されているが、どれくらいの事業が実施できる規模の補正なのか。

答 当初予算と合わせて7,400万円の事業を予定している。追加で行う箇所は今年度実施している国府町、上宝町を予定している。

高山市の財政状況等 (監査委員審査意見書より)

区分	平成25年度	平成24年度	平成23年度
経常収支比率 (%)	75.0	73.7	74.1
財政力指数	0.525	0.523	0.526
経常一般財源比率 (%)	100.4	100.8	101.8

経常収支比率 ● 人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経常経費に、市税、地方交付税、地方譲与税を中心とする経常一般財源がどの程度充当されているかを示す数値。財政構造の弾力性を判断するための指標となるもので、この比率が大きいほど財政の硬直度高いことを示す。通常80%を超えると弾力性を失いつつあるとされ、都市にあたっては75%程度が妥当と考えられている。

会計区分別による市債現在高

(単位：千円)

区分	平成25年度	平成24年度	平成23年度	
市債現在高	一般会計	38,868,089	42,286,573	45,512,497
	特別会計	30,251,607	31,713,100	33,415,854
	合計	69,119,696	73,999,673	78,928,351
債務負担行為	18,682,480	14,552,989	14,697,833	
合計	87,802,176	88,552,662	93,626,184	

財政力指数 ● 地方交付税の規定により算定した基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た過去3年間の平均値。地方公共団体における財政力の一つの指標となるもので、基準額を1とし、1を超えるほど財政力は豊かとなる。

経常一般財源比率 ● 標準財政規模に対する経常一般財源収入額の割合を示したものの。100を超える度合いが高いほど財政に標準以上の行政活動を行うことができる余裕があるとされる。